

北区の産業2023

北区産業振興課



目 次

1	位置と地勢	1
2	歴 史	1
3	人 口	3
4	産業構造	5
5	製造業の現状	8
6	小 売 業	11



第9回観光写真コンテスト 区議会議長賞 観光部門「北区のウユニ」

1 位置と地勢

北区は、その名のとおりに東京都の北部に位置し、北は荒川を隔てて埼玉県のカンオ市、戸田市に、東は荒川区と隅田川を隔てた足立区に、西は板橋区に、また南は文京区と豊島区に接しています。

区の面積は 20.61k㎡で、東西に 2.9km、南北に 9.3km と縦長の形をしています。武蔵野台地の崖線が南北に縦貫するため、特徴ある地形、湧水、小川を有しています。その地形が織りなす緑、花、景観は、古くから人々の注目を集め、王子は江戸時代を代表する行楽地でした。

また、北区は 23 区内でもっとも JR の駅数が多い区で 11 駅が区内にあります。東京さくらトラム（都電荒川線）、東京メトロ南北線も区内を走り、都心に近く、「東京の北の玄関口」として、交通条件に優れた区といえます。

幹線道路は、国道 17 号・122 号線、環状 7 号線・8 号線、明治通りが縦横に走り、首都圏・近郊との接続が至って便利で、また、首都高速中央環状王子線により、都心や郊外への物流ルートにも大変有利な立地となっています。



2 歴史

江戸時代、北区は江戸近郊の行楽地として知られ、特に、桜の名所「飛鳥山」、夏の風物詩「王子の七滝」、紅葉の「音無川」、桜草の「浮間ヶ原」などがありました。

明治時代になると、石神井川、千川用水の水資源、隅田川の舟運を利用して、明治 5 年に鹿島万平が紡績工場を建設し、明治 6 年には、渋沢栄一の手により抄紙会社が創設され、軍需工場も数多く進出しました。その関連で、製紙工程で使う苛性ソーダ・さらし粉製造工場、軍需工場の火薬・鉄砲・火具製造所等が設けられ、金属製品、機械部品なども集積しました。

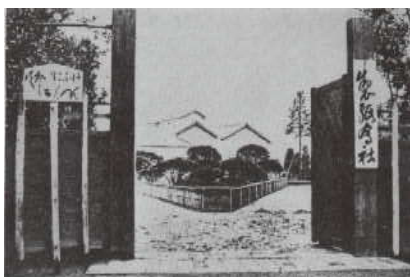
このように、北区は明治期から日本の近代工業発祥の地として、時代の変化に対応しながら20世紀の我が国産業革命を牽引してきました。戦後も都心（大市場）と近郊であることから、衣服、紙加工品、印刷、化学、金属、一般機械、精密機械、その他工業などが、都市型工業の典型として北区に根を張っています。

明治以降の近代産業の発展の象徴として継承される歴史的建造物も多く、青淵文庫、晩香廬、東書文庫、旧古河庭園、旧岩淵水門(赤水門)などは、産業遺産・文化遺産として高く評価されています。

昭和時代になると、現在の北区北部にあたる岩淵町、中部にあたる王子町、南部にあたる滝野川町が東京市に編入され、岩淵町と王子町は王子区、滝野川町は滝野川区となりました。その後、王子区、滝野川区が合併し、現在の北区を形成しています。

平成時代には、近代日本を創ったリーダー・渋沢栄一の志を伝え続ける「渋沢史料館」、北区のことがなんでもわかる「北区飛鳥山博物館」、世界有数の紙専門のユニークな「紙の博物館」という飛鳥山3つの博物館の誕生、駒込と赤羽岩淵間における地下鉄南北線の開通、高速中央環状線の開通などさまざまな施設、インフラが完成し、現在に至っています。

渋沢栄一が設立した抄紙工場（明治6年）



渋沢栄一翁



飛鳥山3つの博物館



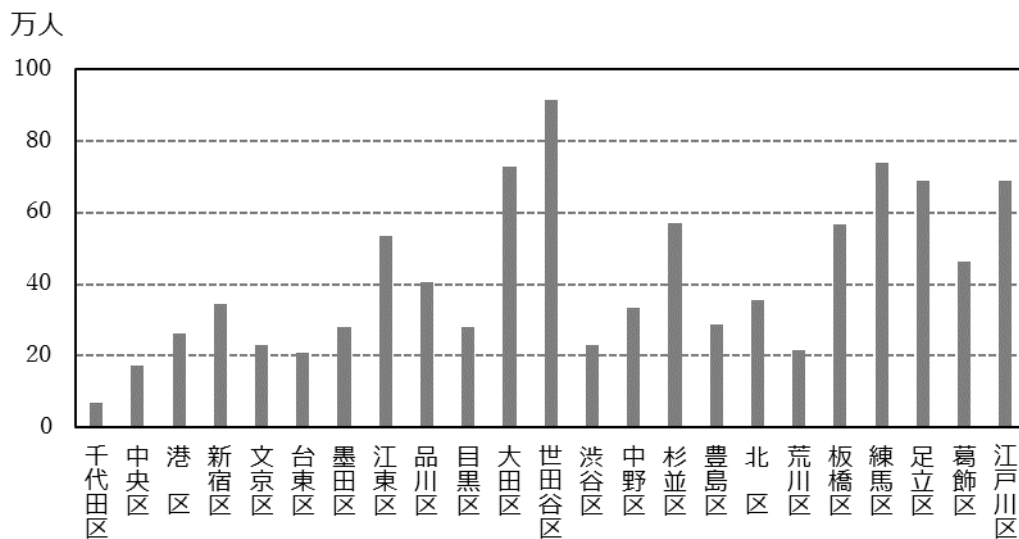
所蔵：国立国会図書館

3 人口

北区の人口は、住民基本台帳によると、昭和39年10月の441,504人をピークに減少し、令和5年1月現在で353,732人と23区中11番目となっています。

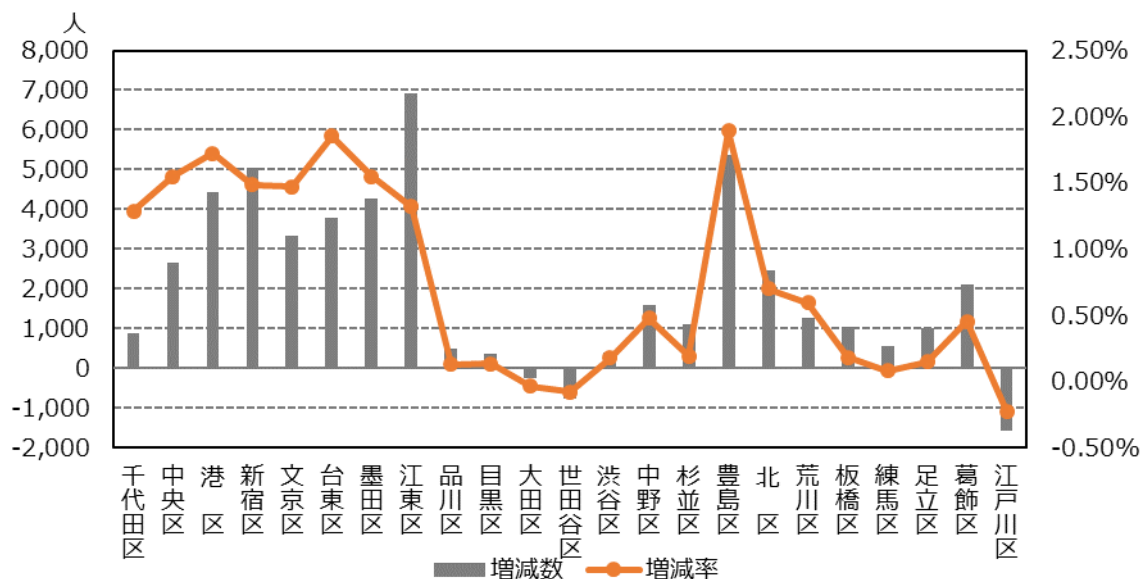
また、人口増減では、昨年1年間で2,454人増加し、増減率は、23区全体の人口増減率が0.49%増に対し、北区は0.70%増となっています。

◆住民基本台帳による令和5年1月現在の人口



(令和5年住民基本台帳による東京都の世帯と人口)

◆令和4年1月～令和5年1月までの人口増減数(棒)と増減率(折れ線)

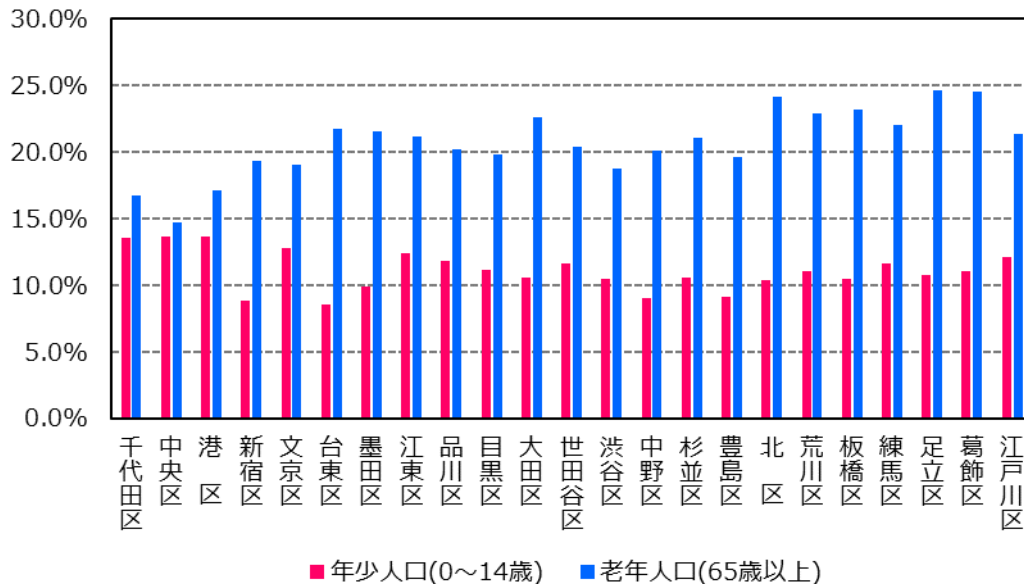


(令和5年住民基本台帳による東京都の世帯と人口)

◆高い高齢化率

65歳以上の高齢者の割合を示す高齢化率は24.1%と23区で3番目に高い比率となっており、東京都平均を大幅に上回るペースで高齢化が進んでいます。また、15歳未満の年少人口比率は10.4%で、23区中6番目に低い割合となっています。

15歳未満の年少人口比率（左棒）と65歳以上の高齢化率（右棒）



(令和5年住民基本台帳による東京都と世帯と人口-令和5年1月1日時点)

◆人口将来推計

「北区人口推計調査報告書」によると、北区の将来人口は、令和23年には365,065人になり、65歳以上の高齢者数は87,633人に増加し、15歳未満の年少者数は39,392人に減少すると見込まれています。

北区人口将来推計



(「北区人口推計調査報告書(令和3年10月)」より作成)

4 産業構造

事業所数 11,709 事業所
従業者数 124,931 人

※令和3年経済センサス-活動調査から

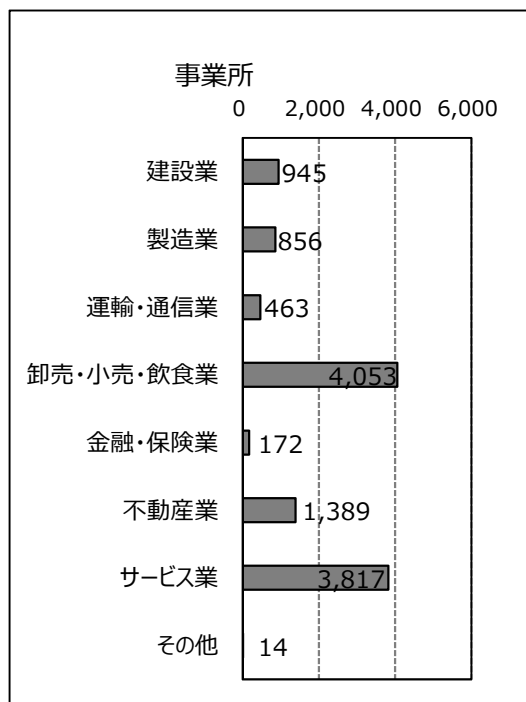
※いずれの数値も公務、公営を除く

◆産業別構成

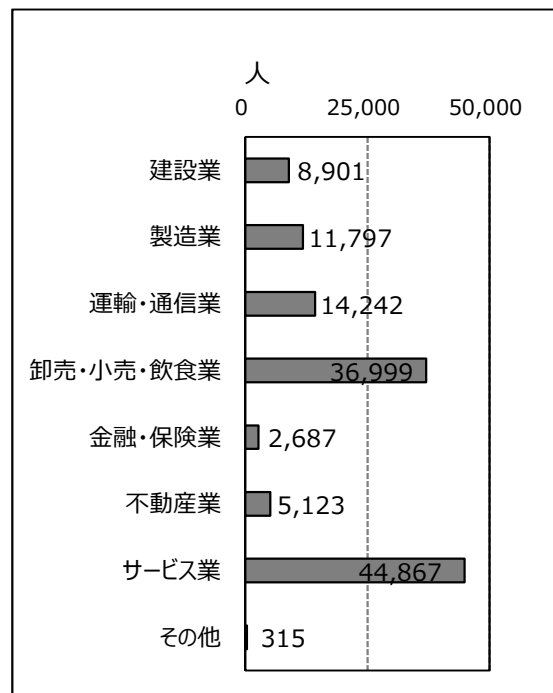
業種構成を事業所数で見ると卸売・小売業・飲食業が 4,053 事業所で全体の 35%、サービス業が 3,817 事業所で 33%、不動産業が 1,389 事業所で 12% の順となっています。

従業者数で見ると、サービス業が 44,867 人で 36%、卸売・小売業・飲食業が 36,999 人で 30%、運輸・通信業が 14,242 人で 11%、製造業が 11,797 人で 9% の順となっています。

産業別事業所数（11,709 事業所）



産業別事業者数（124,931 人）



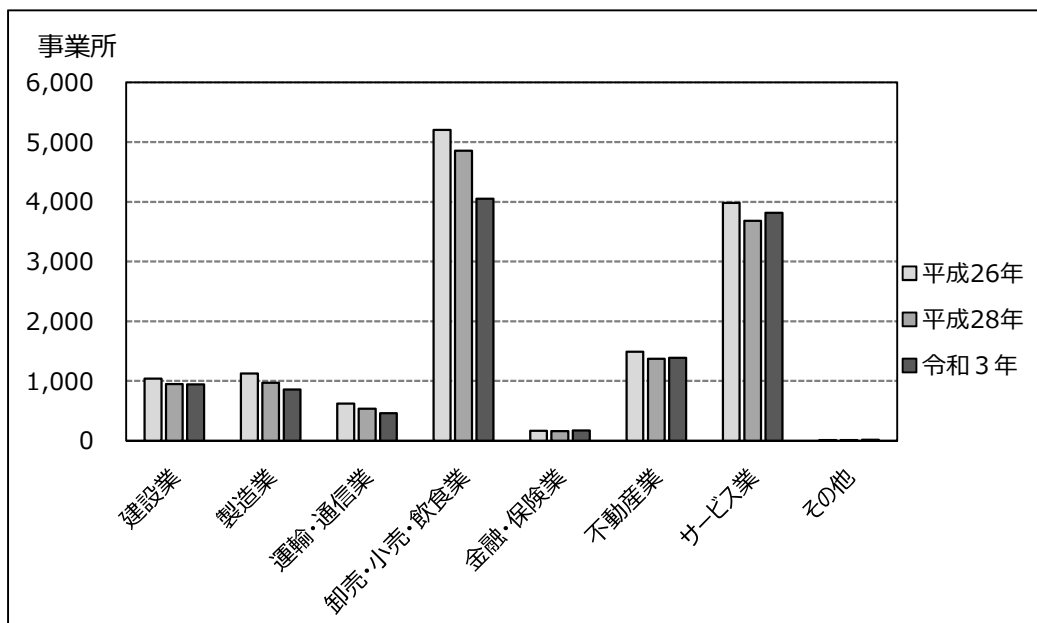
（令和3年経済センサス調査-活動調査）

◆事業所数・従業員の推移

事業所数では、製造業、運輸・通信業、卸売・小売・飲食業等が引き続き減少し、減少傾向にあったサービス業等は増加に転じています。

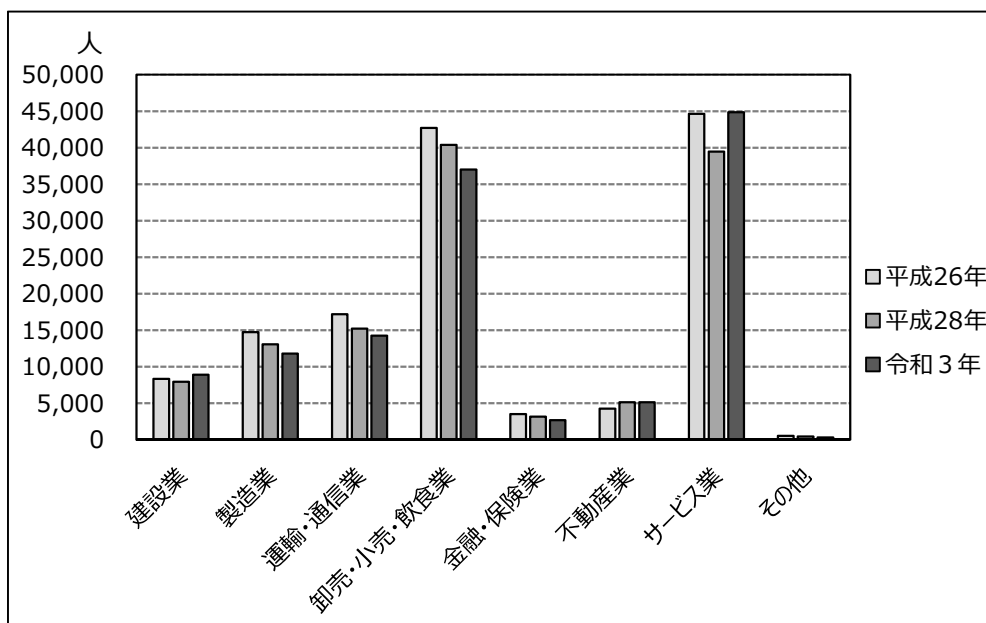
従業員数では、製造業、運輸・通信業、卸売・小売・飲食業、金融・保険業等が引き続き減少しています。

産業別事務所数の推移



(令和3年経済センサス調査-活動調査)

産業別従業員数の推移



(令和3年経済センサス調査-活動調査)

北区の産業別事業所、従業者の数値推移							
区分	調査年	平成26年		平成28年		令和3年	
		事務所数	従業者数	事務所数	従業者数	事務所数	従業者数
建設業		1,038	8,354	947	7,933	945	8,901
製造業		1,124	14,751	970	13,071	856	11,797
運輸・通信業		621	17,175	538	15,209	463	14,242
卸売・小売・飲食業		5,204	42,720	4,857	40,376	4,053	36,999
金融・保険業		164	3,500	160	3,175	172	2,687
不動産業		1,492	4,245	1,370	5,131	1,389	5,123
サービス業		3,984	44,660	3,685	39,450	3,817	44,867
その他		10	524	9	420	14	315
合 計		13,637	135,929	12,536	124,765	11,709	124,931

(平成26年経済センサス-基礎調査、平成28年経済センサス-活動調査、令和3年経済センサス調査-活動調査)

※いずれの数値も公務、公営を除く

5 製造業の現状

事業所数	215 事業所
従業者数	7,042 人
製造品出荷額等	1,386 億 1,736 万円

(調査年令和2年、令和3年経済センサス - 活動調査-従業員4人以上の事業所)

※上記データは従業員4人以上の事業所を集計しています。7ページの「北区の産業別事業所、従業員の数値推移」は全事業所を対象としているため、7ページに記載している令和3年の製造業データと上記データの数値が異なります。

◆事業所数は減少、従業者数は増加

推移をみると、令和2年の事業所数は215事業所となっており、平成27年から89事業所、約71%に減少しています。

従業者数は7,042人となっており、調査年によって浮き沈みがあるが、直近の調査と比べると、2,491人と大幅に減少しています。

また、従業者が4～9人の小規模事業所が105事業所となっており、全体事業所数の約49%を占めています。

製造品出荷額等は1,386億1,736万円であり、過去5年と比較し、最も低くなっている。

区分 調査年	27年	28年	29年	30年	1年	2年
事業所総数	304	250	236	224	234	215
4～9人	175	123	113	107	114	105
10～19人	55	56	54	49	53	107
20～29人	30	30	30	27	24	
30～49人	14	14	11	12	14	
50～99人	18	19	20	22	20	
100～199人	5	2	2	1	3	
200～299人	4	1	1	1	1	
300人以上	3	5	5	5	5	3
従業者総数	8,839	8,237	8,339	8,539	9,533	7,042
製造品出荷額等 (千万円)	19,972	17,990	17,074	17,523	18,536	13,862

(平成28年～令和2年工業統計調査-従業員4人以上の事業所)

(令和3年経済センサス - 活動調査-従業員4人以上の事業所)



(平成 27 年～令和 1 年工業統計調査-従業員 4 人以上の事業所)

(令和 3 年経済センサス - 活動調査-従業員 4 人以上の事業所)

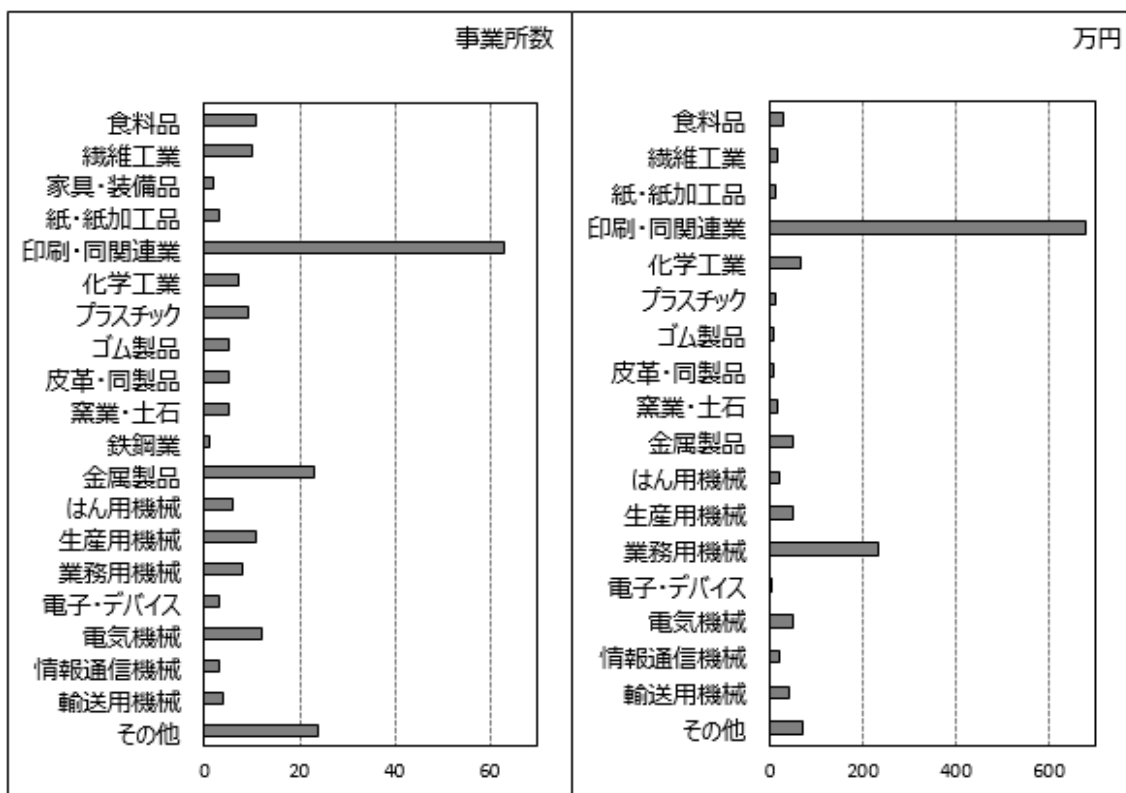
◆業種では印刷がトップ

業種別事業所数は、都市型工業といわれる印刷・同関連業が多く、63 事業所で全体の約 29%を占めています。続いて金属製品が多く、23 事業所で約 11%を占めています。

また、業種別製造品出荷額等についても、印刷・同関連業が 679 億 6,270 万円、約 49%と最も多く、続いて業務用機械が 230 億 5,050 万円で約 17%となっています。

業種別事業所数

業種別製造品出荷額等(非公開の種別は除く)



(令和 3 年経済センサス - 活動調査-従業員 4 人以上の事業所)

◆他区との比較

	事業所数	従業者数 (人)	製造品出荷額等 (万円)	付加価値額 (万円)
北区	215	7,042	13,861,736	6,806,352
千代田区	156	2,870	6,116,673	2,617,145
中央区	159	3,349	7,182,688	4,056,822
港区	116	2,004	5,003,454	2,341,404
新宿区	209	4,818	10,665,598	4,818,249
文京区	199	4,127	7,154,985	3,129,771
台東区	352	3,512	7,040,248	3,010,290
墨田区	601	11,316	29,320,640	13,934,401
江東区	478	10,386	32,295,738	14,902,473
品川区	336	5,474	11,889,096	5,484,088
目黒区	106	2,087	4,279,184	1,993,976
大田区	1,261	19,628	43,446,228	18,509,158
世田谷区	130	1,664	3,365,674	1,777,917
渋谷区	75	1,326	3,006,154	1,538,927
中野区	50	663	984,546	475,062
杉並区	78	1,212	4,253,568	2,628,455
豊島区	145	2,280	8,151,544	5,241,067
荒川区	321	4,242	8,584,652	4,229,326
板橋区	535	13,170	31,043,956	12,727,954
練馬区	150	2,672	6,357,554	2,147,003
足立区	643	10,594	21,568,142	9,230,494
葛飾区	543	7,406	15,706,014	6,027,509
江戸川区	599	8,884	18,585,006	7,406,211
23区計	7,457	130,726	299,863,078	135,034,054

(令和3年経済センサス - 活動調査-従業員4人以上の事業所)

6 小売業

事務所数	1,378 店
従業者数	12,658 人
年間商品販売額	2,169 億 1,600 万円

※令和3年経済センサス-活動調査から

◆商店数、従業者数は減少、一方販売額は増加

直近（令和3年）の経済センサスによると、前回調査（平成28年）に比べ、商店数は313店減少し、1,378店でした。また、従業者数も商店数の減少に比例して減少しており、98人の減少でした。これまでの調査と同様に、減少傾向が続いています。

区分	調査年	平成14年	平成16年	平成19年	平成26年	平成28年	令和3年
事務所総数（店）		3,276	3,081	2,747	1,760	1,691	1,378
従業者総数（人）		17,331	16,995	15,973	13,025	12,756	12,658
年間販売額（百万円）		235,167	234,447	237,078	177,378	222,465	216,916

（平成26年商業統計調査、平成28年経済センサス-活動調査、令和3年経済センサス-活動調査）

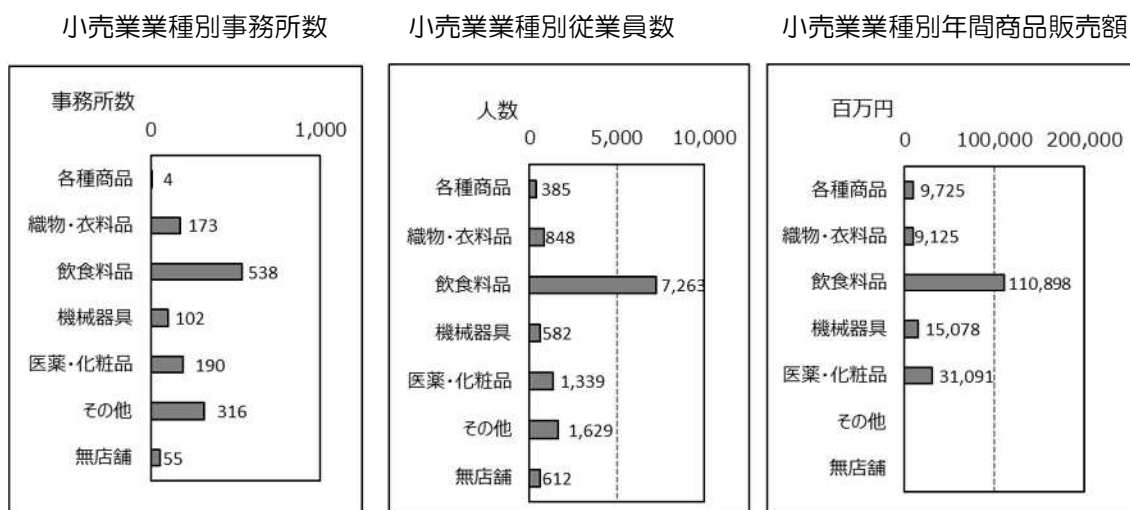


（平成26年商業統計調査、平成28年経済センサス-活動調査、令和3年経済センサス-活動調査）

◆業種別では飲食料品業がいずれの数値も最多に

業種別事務所数は、飲食料品業が 538 事務所、39.0%で最も多くなっており、従業員者数も、飲食料品業が 7,263 人、57.4%と半数以上を占めています。

年間商品販売額についても、飲食料品業が最も多く、1,108 億 9800 万円となっており、51.1%を占めています。



※小売業業種別年間商品販売額の「その他」「無店舗」は非公表
(令和3年経済センサス-活動調査)

◆北区の商店街

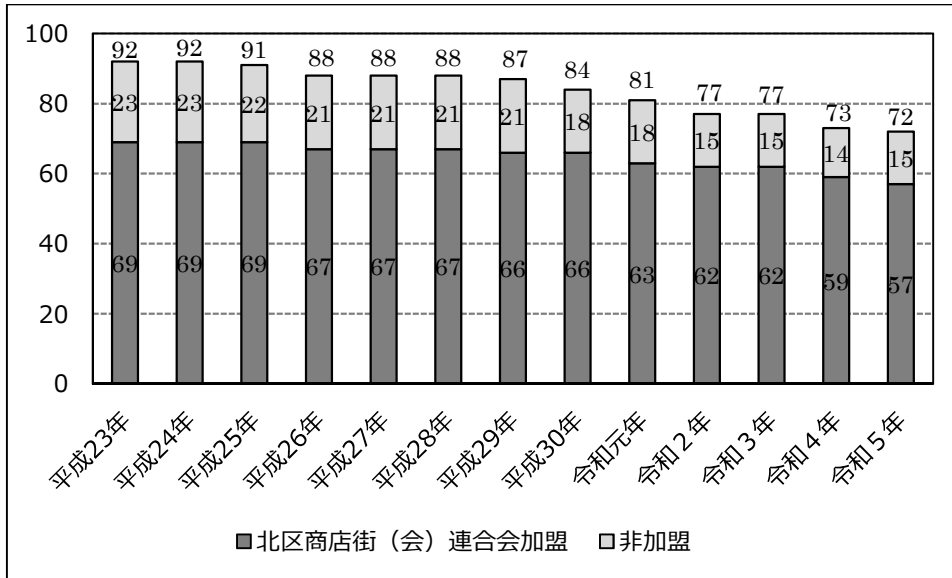
戦前は映画館、三業地、寺社のような娯楽、宗教施設を中心にいわゆる盛り場ができ、その盛り場を中心に商店街ができました。加えて北区では大規模工場、軍施設の進出を契機として商店街が発展してきました。

終戦時には、焼失などもあり、商店街はほとんどが麻痺状態に陥りましたが、赤羽などではヤミ市から商業復興がはじまりました。

そして、北区商店街連合会が昭和26年9月に約40加盟商店街で創立され、その後徐々に加盟商店街を増やしながら、商店街活動を展開してきており、現在、区内には72の商店街があります。

しかしながら、近年、大型店・コンビニの進出、インターネット通販の普及による顧客離れなどにより、商店街を取り巻く環境は厳しい状況にあるため、商店街の新たな魅力づくりや魅力の発信、商店街独自の強みを活かした特徴的な取組みなどが必要となっています。また、区内には多くの空き店舗を抱える商店街があるため、空き店舗を活用し、商店街の活性化や、暮らしやすい地域の形成につなげていくことも課題となっています。

商店街連合会加盟数推移



(令和6年1月5日時点 北区産業振興課データ)

北区の産業2023

令和6年3月発行

刊行物登録番号 5-1-128

編集・発行 北区地域振興部産業振興課

〒114-8503 北区王子1-11-1 北とぴあ11階

電話：03（5390）1234